

K E
気

SGH 通信

K O H
高海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 6 号 平成 28 年 1 月 13 日発行

1・2年生で中間発表会を実施

11月5日(土),土曜授業を活用し,2年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる「課題研究」の中間発表会を実施しました。2学年では,研究したいテーマを個人で考え,共通する分野ごとに集まって班を構成しています。班でテーマを1つ設定し,仮説を立て,その立証のための根拠となる情報収集や実験などを行いながら研究を進めています。仮説の立証だけに留まらず,一步踏み込んだ「提案」まで行くことを目標としております。今回の中間発表会は,前半は複数の研究テーマで6会場に分かれて発表し,後半はその中から投票によって選ばれた代表の班が学年全体の前で発表しました。自分たちの研究について意見をもらったり,お互いに問題点を指摘し合ったり,代表班の参考となる発表を見たりと更なる高みを目指すためのステップになりました。

【2年生】



食事と記憶力の関係を自ら実験!



地震に強いまちづくは維持できる?



代表発表 I LOVE YOU をどう訳す?

11月16日(水)には1年生が「地域社会研究」の中間発表会を実施しました。「海と防災」「海と産業」「海と人間」「海の文化」「三陸の自然」の5領域7会場(班数が多い領域は2会場で実施)に分かれ,全班がパソコン(スライド)を使用して研究成果のプレゼンテーションを行いました。質疑・応答の後には,大学教授・准教授のアドバイザーの方々から各班に対してご助言をいただき,研究を充実させるための多くのヒントを得ることができました。また,10月にフィールドワークでお世話になった方,市内の小中学校・高校の先生方,NPO法人の方々にも発表会の様子を参観していただきました。12月17日(土)には県内の大学や市内の関係機関に出向き,2回目のフィールドワークを実施します。全65班が1月28日(土)の最終発表に向けて研究を進めています。

【1年生】



発表の様子(海の文化)



アドバイザーからの助言(海と産業)



活発な質疑・応答(海と人間)

防災研修・防災訓練を実施しました

11月11日（金），生活防災委員会による防災研修と防災訓練を行いました。生徒が能動的に取り組む防災訓練を目指し，自衛隊と消防署の方々の協力を得ながら，生活防災委員会が事前研修を何度も重ねて本番に臨みました。6時間目は委員をリーダーとして各クラスで「避難時の課題と対応」について話し合い，7時間目は地震及び火災の発生を想定した避難訓練を行いました。雨天ということもあり，避難経路変更への対応も実体験することができました。また，今回は「負傷者」役を決め，生徒が実際に体育館まで運搬し，救護係に引き継ぐまでの訓練も取り入れました。訓練終了後には自衛隊の方を交え，取り組みを振り返りました。



生活防災委員の事前研修



クラスでの防災研修



避難経路安全確認→さあ避難！



負傷者の運搬も本気です



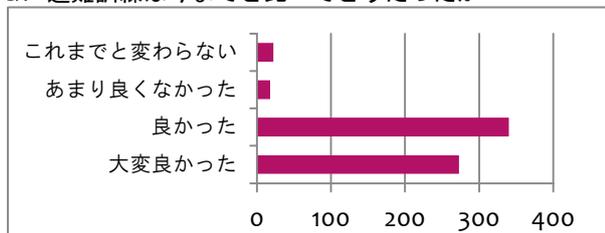
負傷者の様態を確認



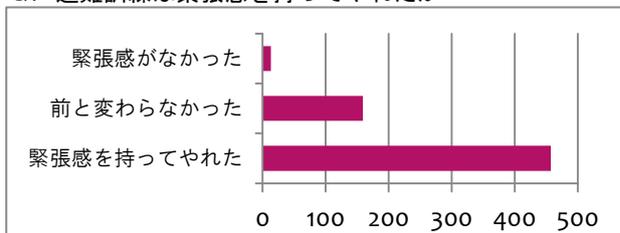
自衛隊の方を交えての事後研修

【生徒アンケートより】※グラフの数字は人数

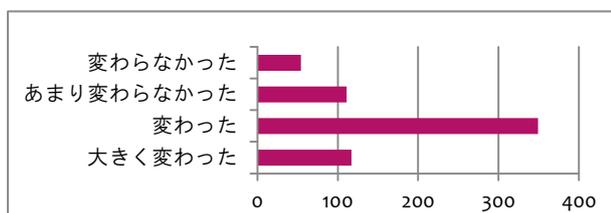
Q. 避難訓練は今までと比べてどうだったか



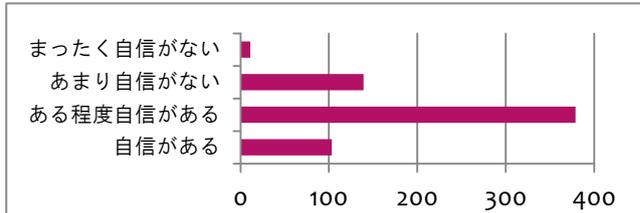
Q. 避難訓練は緊張感を持ってやれたか



Q. 訓練前と訓練後で防災に対する意識は変わったか



Q. 災害時に安全に避難し，周辺の人を誘導できる自信



津波警報発令！住民ら約40名が避難！

11月22日（火）早朝に，福島県沖を震源とする地震が発生。8時過ぎには津波注意報が津波警報に変わり，気仙沼市では避難指示が出されました。本校は臨時休校としましたが，避難指示の発令を受け，第2体育館に避難所を設置し，職員が避難してきた車の誘導，避難所の設営，避難者への対応，すでに登校した生徒への対応を行いました。避難所となった第2体育館には，学校付近の住民や企業から約40名が避難してきました。9時46分に津波警報が注意報に変わり，10時30分には避難指示が解除されました。



避難者名簿の準備